降誕前節第8主日・聖徒の日（白）

召天者記念礼拝

2026年11月1日　10時20分～

司式:
奏楽:

≪神の招き≫

前　　奏	『まことの安らぎはこの世にはなく』ヴィヴァルディ	
招　　詞	イザヤ書40章26節	
賛 美 歌	３８２	

≪神の言葉≫

祈　　祷	聖霊の照らしを求める祈り	
聖　　書	創世記9章8～17節	（旧約　11頁）
	ルカによる福音書11章33～41節	（新約128頁）
子ども説教		
交読詩編	1編1～6節	（7頁）
賛 美 歌	５８０	
説　　教	「 雲に虹が現れるとき 」	八木浩史牧師
祈　　祷		
賛 美 歌	３８５	

≪感謝の応答≫

信仰告白	使徒信条	
召天者記念		
奉　　献	献金	祈祷:献金当番
主の祈り	（週報表紙、ホームページ掲載）	

≪派　遣≫

頌　　栄	３９－６	
祝　　福		
報　　告	11月誕生者祝福	
後　　奏	『主は教会の基となり（讃美歌390番）』S.S.ウェスレー	

礼拝当番:　　（役員:　　）　　献金当番:
音響:　　映像:

■■■　調布教会は2026年度に創立80周年を迎えました！　■■■

「 雲に虹が現れるとき」

『創世記』9 章 8～17 節では、洪水の後、神がノアとその子孫、さらにすべての生き物との間に契約を立てられます。二度と洪水によって地上のすべての命を滅ぼすことはないとのこと、その契約のしるしとして雲の中に虹を置かれました。しかし洪水による死を免れたノアとその家族は、罪を犯さない者たちではありません。彼らから増える子孫も、神に背く罪を犯します。それでも神は洪水ですべての命を滅ぼすことはもうしないと約束されるのです。この契約の主体は神であり、人間の行いや信仰の強さを条件としていません。神ご自身だけの忍耐を必要とする契約なのです。虹を見る度に神御自身が契約を思い起こされるとのこと。洪水によって裁きを行われた神は、被造物の命を守り、世界を存続させることを約束されました。虹は、すべての命を大切にされる神の愛のしるしなのです。

『ルカによる福音書』では、主イエスが、神の光を受け入れる心の大切さを教えられます。「灯」は隠されたり覆われたりするためではなく、人に光をもたらすために用いられます。同じように、神の御言葉を聞いた者は、その光を受け入れ、その光によって歩むべきです。「目は体の灯である」と語られるように、キリストという光を見ることで、明るく生きる力が与えられているのです。神に対して心を開いているか、それとも自分の思いや欲望によって心が曇っているかを問う言葉です。主イエスは、私たちのために、十字架での死から復活され、天に昇られました。主を信じる者は、復活の恵みに与り、天に召されて、永遠の命の幸いに与ります。この福音を信じて、召天者を記念しましょう。